

安全データシート

1、製品及び会社情報

製品名： : エドクリーンK
製品コード： : 03303
会社名： : 株式会社カズサ
会社住所： : 千葉県長生郡白子町南日当2424-6
担当部門： : 品質保証部
担当者(作成者)： : 坂井裕貴
電話番号： : 0475-33-6417
FAX番号： : 0475-33-4217
メールアドレス： : kazusa21@k2.dion.ne.jp
緊急連絡先： : 0475-33-6417
推奨用途及び使用上の制限： : 洗浄剤

2、危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない。

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5

急性毒性(経皮) : 分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2B 眼刺激

呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 区分1 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 : 分類できない。

発がん性 : 分類できない。

生殖毒性 : 分類できない。

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分3

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない。

環境に対する有害性

水生環境性有害性 : 区分3

水生環境慢性有害性 : 区分外

絵表示またはシンボル

(GHSラベル要素)



| | |
|----------|---|
| 注意喚起語 | : 警告 |
| 危険有害性情報 | : 飲み込むと有害 |
| | : 眼刺激 |
| | : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 |
| | : 水生生物に有害 |
| | : 呼吸器への刺激のおそれ。 |
| 注意書き | |
| (予防策) | : 取扱い後は、よく手を洗うこと。 |
| | : 環境への放出をさけること。 |
| (応急処置) | |
| 眼に入った場合 | : 眼に入った場合は、直ちに流水で少なくとも 15分間以上洗眼する。洗眼の際は、コンタクト レンズをはずし、瞼を指で良く開き眼球・瞼 の隅々まで水が行き渡るように良く洗う。 刺激等の異常が残る場合は、直ちに医師の診断 を受ける。 |
| 吸入した場合 | : 粘膜に対して中程度の刺激があるので、直ちに 多量の水でうがいをする。異常が残る場合は、 直ちに医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付いた場合 | : 皮膚に対し軽度の刺激が残るので清水で 洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受け る。 |
| 飲み込んだ場合 | : 水で口の中を洗浄し、多量の水を飲ませ吐き出 させ、直ちに医師の診断を受ける。 |
| (保管) | : 液が漏水しないように使用後は必ず密封する。 : 高温多湿、火気などを避ける。 : 容器の転倒・落下等乱暴な取扱いをしない。 |
| (廃棄) | : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する 法規に従って処理を行うか、都道府県の許可を得 ている業者に委託する。 |

3、組成・成分情報

| | |
|-------------|----------------------|
| 単一製品・混合物の区別 | : 混合物（界面活性剤を含有する混合物） |
| 化学名又は一般名 | : —— |

成分及び含有量

| 成分名 | 含有量 wt% | CAS No. | 化審法 No | PRTR 法 |
|------------------|---------|-------------|--------|-----------|
| ノニオン系界面活性剤 | 2%以下 | 977069-44-5 | 2-827 | 該当せず |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩 | 10%以下 | 25155-30-0 | 3-1906 | 第1種 No 24 |
| 高級アルコール系ノニオン活性剤 | 1%未満 | 非公開 | 非公開 | 該当せず |
| 低温流動化剤 | 1%以下 | 非公開 | 非公開 | 該当せず |
| 防腐剤 | 微量 | 非公開 | 非公開 | 該当せず |
| 精製水 | バランス | 7732-18-5 | 非該当 | 該当せず |

☆労働安全衛生法・・・・・・・・全成分とも非該当

☆毒物及び劇物取締法・・・・・・・・全成分とも非該当

注) 界面活性剤の成分については、非公開と致します。

4、応急処置

吸入した場合 : 多量にミスト等吸引した場合は、直ちに新鮮な空気の場合所へ移し保湿しながら安静にする。呼吸が困難な場合は、衣類の締め付けを緩めて人口呼吸を行う。呼吸が不規則、吐き気がする、気分が回復しない等異常を感じる場合は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類・靴などを速やかに脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹼を使って洗い流す。皮膚に異常を感じる場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに多量の水で、15分以上洗眼する。尚、洗眼の際は、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々までよく洗うこと。刺激等の異常を感じる場合は、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 万一飲み込んだ場合、直ちに口の中を洗浄してから、無理には吐かせずに、速やかに医師の手当を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5、火災時の措置

本剤は、不燃物であるので、特別な処置は必要としない。
漏出しないように火元から速やかに移動させる。
適切な消火器具を準備する。

6、漏出時の措置

漏出時の作業 : 漏出の作業においては、適切な保護具を着用する。

(保護手袋・保護マスク・保護眼鏡・保護前掛け等)

作業時においては、窓・ドア等を開け十分な換気をする
こと。

漏出液の処理 : おがくず、紙、土砂等を用いて吸収させ空容器等に回収
する。その後は、漏出区域周辺を多量の水で洗い流す。
洗浄した廃水は、河川や地面に流さないこと。

廃棄物処理 : 関連法規に基づいて処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

- ① 換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
- ② ミストの発散を抑え、作業環境濃度をできるだけ低く保つように努める。
- ③ 発生させたミストは吸い込まないようにする。
- ④ 取る扱い時は、適切な保護具を着用する。
- ⑤ 取扱い後は、うがい・洗顔を行う。作業衣等に付着した場合は、着替える。
- ⑥ 使用上、他薬剤・異物と混合させない。
- ⑦ 未開封・密栓の容器に対して、火気を近づけない・高温物を近づけない。

保管上の注意

- ① 直射日光を避け、20℃以下の通気性の良い場所で、密栓して、貯蔵・保管することが望ましい。
- ② 高温体との接触を避ける。
- ③ 凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
- ④ 異物混入をさせないように整理整頓して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 特に必要としない。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて保護マスク（有機ガス用マスク）を使用
する。

手の保護具 : ゴム製保護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 則板付きゴーグル型保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具

: ゴム手袋、不浸透性保護衣（長袖）、ゴム長靴、ゴム前掛

を着用する。

9、物理的及び化学的性質

| | | |
|---------------|-----|-----------------------------|
| 物理的状態 | ・形状 | : 液体 |
| | ・色 | : 淡黄色透明液体 |
| | ・臭い | : 無臭（僅かな原料臭） |
| p H | : | 中性 |
| 融点／凝固点 | : | データ無し。 |
| 沸 点 | : | データ無し。 |
| 発火点 | : | データ無し |
| 自然発火温度（発火点） | : | データ無し。 |
| 燃焼性 | : | 該当しない。 |
| 蒸気圧・蒸気密度・蒸気速度 | : | いずれもデータ無し。 |
| 比 重 | : | 1.02（原液 at20℃） |
| 溶解性 | : | 水に易溶 |
| 粘 度 | : | 300～400（mP a . s）（原液 at20℃） |

10、安全性及び反応性

| | | |
|-----------|---|----------------|
| 引火点 | : | データ無し。 |
| 燃焼又は爆発限界 | : | （下限）（上限）データ無し。 |
| 可燃性 | : | データ無し。 |
| 発火性 | : | データ無し。 |
| 酸化性 | : | データ無し。 |
| 自己反応性・爆発性 | : | データ無し。 |
| 安全性 | : | 化学的に安定 |
| 危険有害反応可能性 | : | データ無し。 |
| その他の危険情報 | : | データ無し。 |

11、有害性情報

組成物の有害性及び暴露濃度基準

| 成分名 | 濃度管理 | 許容濃度（ACGIH） | 許容濃度 日本産業学会 | その他 |
|------------|------|---------------|---------------|------|
| ノニオン系界面活性剤 | 未設定 | 未設定 | 未設定 | 情報無し |
| 直鎖アルキルベンゼン | 未設定 | 吸入性粉塵 3 mg/kg | 吸入性粉塵 2 mg/kg | 情報無し |
| スルホン酸塩 | | 総粉塵 10 mg/kg | 総粉塵 8 mg/kg | |

ノニオン系界面活性剤

刺激性（皮膚、眼）

皮膚 : データ無し。有害性は弱いと思われる。
眼 : 弱から中程度の刺激性あり。
急性毒性 : 経口 LD50 ラット 5.1g/kg
亜急性毒性 : 情報無し。
感作性 : 情報無し。
慢性毒性 : 情報無し。
変異原性 : 情報無し。
催奇形性 : 情報無し。
がん原性 : 情報無し。
生殖毒性 : 情報無し。

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩

急性毒性 : 経口 LD50 ラット 1980 mg/kg (OECD SIAM)
急性毒性 : 経口 LD50 ラット >2000 mg/kg (OECD SLAM)
皮膚腐食性・刺激性 : ウサギ 中から強い刺激性あり (47%濃度)
(OECD SIAM)

眼に対する重篤な損傷・刺激

ウサギ OECD 405 : 平均評価スコア (24, 48, 72hr)
角膜 2.3、1.7、2
虹彩 1.3、0、0
結膜発赤 3、1.7、2
結膜浮腫 3、2、2
反応持続期間 1 4 日 (OECD SIAM)

ウサギ : わずかに刺激あり (IUCLID)

呼吸器感作性・皮膚感作性 : 情報なし。
変異原性 : 情報無し。
発がん性 : IARC・・・認定されていない。
NTP・・・認定されていない。
日本産業衛生学会・・・認定されていない。
生殖毒性 : 情報無し。
その他 : 情報無し。

1 2、環境影響情報

ノニオン系界面活性剤

残留性/分解性 : 知見はないが、分解性は良いと推定される。
生態蓄積性 : 情報無し。
生態毒性 : 水生生物毒性 魚毒性 LC50 4~11mg/L : ヒメダカ 48H

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩

残留性/分解性 : 情報無し。
生態蓄積性 : 情報無し。
生態毒性 : 水生生物毒性 魚毒性 EC₅₀ 1.67mg/L:ブルーギル
(OECD SIAM)

1 3、廃棄上の注意

- ①廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者にて処理をする。
- ②容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。
- ③排水処理により発生した廃棄物についても廃棄物処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行う 又は委託処理する。

1 4、輸送上の注意

- 陸上輸送 : 取扱い及び保管上の注意の項に従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
- 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
- 注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を完全に行う。

1 5、適用法令

- 消防法 : 該当せず。
- 労働安全衛生法 : 該当せず。
- 毒物及び劇物取締法 : 該当せず。
- P R T R 法 : 第 1 種指定化学物質 No24 アルキルベンゼンスルホン酸塩

1 6、その他の情報

引用文献

☆GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成法の研修テキスト
中央労働災害防止協会

☆15107の化学商品 化学工業日報社

☆成分の製品安全データシート 各社

その他

記載内容について、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、危険・有害性の評価は、現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成いたしておりますが、すべての資料・情報・データを網羅しているわけではありません。お取扱いにおいては、充分注意して下さい。

記載内容の改訂について、新しい知見、情報、データ等により改訂致します。

記載内容の問い合わせ先

会社 : 株式会社 カズサ
連絡先 : 電 話 03-3863-5855
FAX 03-3863-5856